



中期経営戦略

「Infinity with Will 2025 ~MUCCサスティナブルプラン 1st STEP~」(2023-2025年度)

2030年近傍における事業環境を踏まえた目指す姿を掲げたくうえで、企業価値の向上に取り組みます。また、直近の状況を踏まえた足元固めを最重要課題と位置付けます。

名称にはUBE三菱セメント株式会社のタグラインである「Infinity with Will(ずっと支える、地球の未来を。)」を使っています。

Mission	最高の品質を 最高の技術とサービスで提供し、 地球の未来を支えつづける。	Value	誠実さと真摯さ 個の融合とグループ力 挑戦と変革
	事業環境		目指す姿

- 国内需要の漸減 ● 労働人口の減少
- 石炭価格の高止まり ● 輸出市場の悪化
- 南カリフォルニア市場の成長
- カーボンニュートラルの加速 ● 地球環境保全
- 革新的なデジタル技術の進展

- 国内トップのコスト競争力
- 成長し続ける海外事業
- カーボンニュートラルの業界トップランナー
- 強固なバリューチェーン
- 新たな価値を創出し続ける独自技術

2030年の目指す姿

統合の深化により業界トップの技術力・収益力を誇るグループ

国内・海外両輪により国内連結営業利益:300億円以上、海外連結営業利益:350M\$以上を達成  
(連結ROE 8%以上、ROA 6%以上)

中期経営戦略における事業方針・成長戦略

1. 国内セメント事業の体質強化・コストダウン

コストダウン追求、体制の再構築と強固なバリューチェーンにより国内トップの競争力を有するセメント事業を目指します。

- 適正販売価格の獲得
- 最適生産・物流体制による競争力強化
- エネルギー価格高騰対策(脱炭素社会への対応)
- 事業基盤の整備・合理化

2. 米国事業の成長・新規拠点の探索

南カリフォルニアにおける地域生コントップシェアをベースに垂直統合モデルを強化し、価値の最大化を目指すとともに、米国事業に続く“第2の柱”となる新規拠点の探索/開拓を行います。

- 需要増加への対応  
(セメント/生コン安定供給・骨材の安定確保)
- コストに見合った価格転嫁
- カーボンニュートラルへの対応

3. 地球温暖化対策の推進

先端技術を確認し早期に社会実装とセメント

メーカー独自の事業性のある脱炭素スキームの実現により、2030年:CO<sub>2</sub>排出量40%削減(対2013年比) 2050年:カーボンニュートラルを目指します。

(1)エネルギー転換の早期実現

焼成用熱エネルギー転換

- 廃棄物等代替: 50%(~2030年)
- カーボンフリーエネルギー: 50%(~2050年)
- 電力用エネルギーの非化石化  
(~2030年 排出削減、~2050年 完全非化石化)

(2)CCUの早期事業化

セメント製造プロセスから回収できる低コスト・高濃度のCO<sub>2</sub>を有用な資源と認識し、回収CO<sub>2</sub>の利活用可能なビジネスモデルを確立(~2030年)

4. 国内バリューチェーンの強化・拡大

(1)環境エネルギー事業

国内最大級の宇宙コールセンターを活用したエネルギーバリューチェーンの強化(熱エネ代替物の利用拡大とバイオマス転換)により新たな利益を創出します。

- エネルギーバリューチェーンの構築と強化
- 安価な熱エネルギーの追求(ソースの拡大)

(2)資源事業

石灰石資源の安定確保、および付加価値の最大化とコストの最小化を目指します。

- 石灰石の最適採掘体制の構築、けい石資源確保(鉱山開発準備)、仕入ソースおよび資源の確保
- シナジー効果の最大化(宇部マテリアルズ骨材・石灰石事業統合、グループ全体の最適供給体制の構築)
- マグネシアの用途拡大と生石灰の販路拡大
- 塩基性硫酸マグネシウム(モスハイジ)の自動車向け用途拡大による拡販
- 超高純度炭酸カルシウム(CS)の積層セラミックコンデンサー向け供給能力拡大

(3)生コン・販売店

経営基盤を強化し、安定的な収益を確保するとともに、各エリアを牽引し、国内セメント営業戦略の一翼を担うグループ形成を目指します。

- 直系生コン・販売店の再構築
- アライアンスによるエリア牽引
- グループ人材の活用
- 低炭素製品の需要取り込み

5. 研究開発・経営ソフトの強化

(1)研究開発

業界トップクラスの開発力により独創的な技術を確認し、事業の成長と持続可能な社会の実現に向けて新たな価値の創出を目指します。

- 地球環境対策:CO<sub>2</sub>削減・利用技術の早期獲得
- 既存事業の立て直し・強化:保有技術の深化・活用による収益力と生産性の向上
- 新規事業の創出(成長分野の強化・拡大):独創的な技術・材料の開発と実用化を推進

(2)人材

多様な人材を受け入れ、働きがいのある環境に整備。人的資源を戦略的に再配置し、グループ全体の効率化を達成します。

- 適正人員配置の推進:業務効率化と人材流動化により海外・研究開発・グループ会社へ人員シフト
- 専門人材の確保・育成(DX、グローバル等)
- ジョブ型制度へのシフト
- ダイバーシティ&インクルージョンの推進

(3)DX戦略

デジタル技術とデータを活用、事業変革を支えるデジタル基盤の整備・運用を通じてグループの持続的成長を支えるとともに、新しい価値創出機会を継続的に捉え、競争優位性を確立します。

- 全社組織のDX推進組織の設置(戦略策定、人材育成)、業務の効率化・自動化

脱炭素社会および循環型社会構築への貢献

UBE三菱セメント株式会社は、本中期経営戦略の中で、地球温暖化対策をグループの最重要課題の一つと位置づけています。大型港湾を有する西日本臨海部に主力拠点が集中し、複合素材メーカーの中で蓄積してきた技術・サプライチェーンを有する強みを活かし、セメントメーカー独自の事業性のある脱炭素スキームの実現により、2050年UBE三菱セメントグループ全体でのカーボンニュートラルを目指します。近隣地域や他産業との連携などを通じてカーボンニュートラル実現のための新たな取り組みに挑戦し、業界トップランナーとなるべく取り組んでまいります。

